

佐世保市 教育センターだより

No.263

平成29年9月29日

Sasebo City Educational Center佐世保市教育センター
佐世保市保立町12-31
TEL(0956)76-7331

『伝える』

佐世保市教育委員会 学校教育課

主幹 木原 健一

池波正太郎作「真田太平記」は、一般の「真田もの」とは異なり、真田信之の人生に光を当てています。

信之は、幸村（信繁）の兄。関ヶ原の戦いで、父や弟と別れて徳川方へ付き、その子孫は松代真田藩として、無事明治維新を迎えることになります。

物語のほとんどは、昌幸・幸村親子が、徳川の大軍相手に一步も引かず、配下の忍者を操って、巧みな戦術できりぎり舞いさせる痛快な場面が続きます。幼少時に人形劇「真田十勇士」を毎回食い入るように見ていた私にとっては、幸福の追体験といった感じ。

大坂の陣で豊臣家と幸村は滅び去り、ここに戦乱の世は終息するのですが、物語は終わりません。ここから信之と幕府との水面下の戦いが始まります。

これまでさんざんに徳川を苦しめ続けた真田に対する恨みと、そのうち逆らうのではないかとの疑惑から、幕府は、藩をとりつぶす名分を得るために密使を送り込み、様々に揺さぶりをかけます。中には親子二代にわたる隠密もいて、執念さえ感じさせます（直木賞受賞作「錯乱」も参照）。藩存続の危機に直面し、これまで幕府に対する恭順の姿勢を崩さなかった信之が、幸村の下で働いていた生き残りの忍者の手も借り、父譲りの謀略を駆使して、見事切り抜けます。信之が、父と弟の継承を果たした瞬間です。

この後も、真田家は後継ぎ争いなどの騒動が絶えませんでした。93歳まで長命した信之がその都度指図して家の基礎を固めました。

私たちが今日、真田の活躍を本やテレビで目にするができるのは、信之の子孫が存続し、先祖の栄光を語り継いできたからです。また、この栄光を誇りに、真田家の代々は必死に生き抜いてきたのだとも思います。

後年、松代からは、佐久間象山、栗林忠道といった、世間に流されない一種の傑物が輩出しますが、信之にはじまる藩風を感じずにはられません。

真田家には、代々伝わる長持がありました。家老すら中を見られず、寝ずの番を付けてまで保管してあるもので、家康拝領の短刀が入っているとされていました。明治になって開封したところ、現れたのは石田三成からの書状でした。信之と親交のあった三成は関ヶ原の敵将、当時露見していたら大変なことになる機密書類だったそうです。

家を残すために信念をしまい込んだ漢（おとこ）の願いと本心は、伝わりました。

変革の時代です。先輩教師から後輩へ、教師から子どもたちへ、大切なことは確実に伝えていきたいものです。

Secular training 経年研修

関係法令に基づく研修（中核市研修）

◆初任者研修

■宿泊研修

7月26日（水）～28日（金）

講師：教育センター所員 他

参加型、体験型などの多様な研修を行いました。また宿泊を伴った研修を通して、初任者教諭同士のネットワークが深まり、大変有意義な研修となりました。



◆中堅教諭等資質向上研修

■授業力向上研修

8月2日（水）9:00～11:30

講師：教育センター所員

前半は、授業改善の視点を中心に講義を行いました。後半は、二種類の模擬授業を行う中で、主体的・対話的で深い学びについて協議し、講義・演習を行いました。



◆若手研修（2年目～5年目）

■倫理服務規律研修（3年目）

6月28日（水）14:00～16:30

講師：教育センター所員

「教職員に求められる倫理と服務」「知っておくべき法知識（生徒指導）」について講義・演習を行いました。感想として、「法規の文章だけに捉われることなく、子どもの実態に応じて判断していくことの大切さを学んだ。」等の声が聞かれ、実りある研修となりました。



■授業力向上研修（4年目）

8月3日（木）14:00～16:30

講師：教育センター所員

「授業改善の視点について」と題して講義を行い、その後、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業作りについてワークショップ型研修を行いました。受講者それぞれが新たに授業改善の視点を持ち、主体的・対話的で深い学びについての意識を高めていたようでした。



◆初任者研修・中堅教諭等資質向上研修

■交流研修

8月7日（月）9:30～16:30

講師：教育センター所員、学校保健課職員

10年経験者の実践発表後、初任者との質疑応答の時間を設けました。初任者においては、10年経験者のノウハウを習得するとともに、未来を見据えるよい機会となりました。10年経験者においては、初任者から刺激を受け、これまでの実践について振り返るよい機会となりました。



◆15年・20年経過教員研修

■全体研修

7月5日（水）14:00～16:30

講師：教育センター所員、臨床心理士 富崎 朋子

講義「ミドルリーダーとしての心構え」や講義・演習「職業性ストレスとの上手な付き合い方」を通して、ミドルリーダーとしてどのようなことが求められるのか、また心身ともに穏やかに生きるために自分には何が必要かということについてじっくり考える機会となりました。



Professional training

職能研修

教育課程実施上の諸問題を解決し、実践するための基礎的・基本的な研修



■「特別支援コーディネーター」
4月25日(火) 14:30~16:30
演題 「特別支援コーディネーターの役割について」
講師 長崎大学大学院 准教授 友永 光幸 先生

特別支援教育コーディネーターの役割や合理的配慮について講義をしていただきました。また、佐世保特別支援学校 波多野 淳先生より特別支援学校のセンター的機能についてご指導いただきました。



■「道徳教育推進教師」
5月19日(金) 14:30~16:30
演題 「道徳教育推進教師の役割」
講師 長崎大学 准教授 山岸 賢一郎 先生

新任及び希望者の道徳教育推進教師を対象に、教科化に向けた国の動向や道徳教育推進教師の役割などの講義をしていただきました。道徳の授業での発問をそれぞれ考える演習もあり、有意義な時間となりました。



■「研究主任」
7月7日(金) 14:30~16:30
演題 「次期学習指導要領の方向性及び授業改善」
講師 東洋大学 教授 後藤 顕一 先生

我が国の教育課題や次期学習指導要領が目指す基本的な方向性を踏まえ、資質・能力の育成を目指した授業づくりの視点についてご指導いただきました。参加した研究主任の先生方が、学力向上についてじっくり考え、話し合うよい機会となりました。

Challenge training

課題研修

学校教育推進上の諸問題に対応した内容の研修



■「シリーズ研修講座① 『学級経営』」
7月3日(月) 14:30~16:30
演題 「よりよい人間関係やアクティブ・ラーナーを育てる特別活動～日本式人間教育を通して～」
講師 國學院大学 教授 杉田 洋 先生

特別活動を通した人間関係づくりについて考えを深める良い機会となりました。感動して涙を流す受講者もいらっしゃいました。



■「特別支援教育」
8月4日(金) 13:30~15:30
演題 「通常学級における特別支援教育について」
講師 名城大学 教授 曾山 和彦 先生

通常学級における特別支援教育について、具体的な支援を踏まえた講義がありました。曾山先生の講義には、毎年必ず参加されている先生も多く、今年度も素晴らしい講座となりました。



■「書写・書道」
8月8日(火) 9:30~16:30
演題 「書写書道の楽しみ・指導法について」
講師 日展会友 堤 玉圃 先生 他5名

書道の基本や作品の見方等、実技を交えた内容で、「書道の楽しさを味わうことができた。」「9月からの書写指導に生かしたい。」など、受講者にも大好評でした。

Information Education and training

情報教育研修

ICTの活用に係る教職員の資質向上を図る研修



■プログラミング教育
7月27日(木) 9:30~11:30
演題 「プログラミング教育の現状・背景」
講師 スズキ教育ソフト 杉山 美咲 先生

プログラミング教育の意義と背景をご講義いただきました。また、キューブのプログラミングソフトでの演習を行いました。大変分かりやすい講義でした。



■情報モラル
7月28日(金) 14:30~16:30
演題 「情報モラルに係る事例紹介およびキューブソフトを活用した情報モラル教育」
講師 スズキ教育ソフト 尾藤 唯 先生

スマホ依存、オンラインゲームの危険性、家庭教育等に関する多くの資料をご提示いただきました。情報モラル教育の指導方法については、具体的であったため、大変有意義な講義となりました。



■Word 活用
8月8日(火) 9:30~11:30
14:30~16:30
演題 「Word 活用(基礎)」
講師 教育センター研究員

Word の基本編として、罫線や表作成などの活用について研修を行いました。各項目を進めていく中で、図形のトリミング、タブ、ショートカット等の技法を身に付けることもでき、大好評でした。

Class Improvement training

授業改善研修

授業力向上のための実践的な研修 (小中学校の教科・各領域)



■小学校・図工

8月2日(水) 13:30~16:30

演題 「色シャボンから発想した世界を表す」
講師 福岡教育大学 准教授 松久 公嗣 先生
和やかな雰囲気の中、様々な技法を紹介いただきながら演習を行いました。「創意工夫を引き出すための題材がいかに重要なのか体験できた。」などの感想があり、実りある研修となりました。

■小中学校・理科

8月4日(金) 9:30~11:30

演題 「明日から使える理科教材
~特別支援教育からの天体教材の提案~」
講師 王立プノンペン大学 間々田 和彦 先生
天体教材作りを通して、特別支援教育の視点を学びました。また講師の間々田先生から、情熱あふれる教師としてのプロ意識についてもご指導いただき、充実した研修となりました。

今後の目玉研修

注目

シリーズ研修講座②
「学力向上」

■中学校数学

10月16日(月)
14:30~16:30

講師 教科調査官

水谷 尚人 先生



■中学校国語

10月18日(水)
14:30~16:30

講師 教科調査官

杉本 直美 先生



イングリッシュ フェス

今年度から
開催!
英会話研修

■課題研修「英会話」

第1・2回 8月17日(木) <あいさつ編> 14:00~16:15

第3・4回 8月18日(金) <レストラン編> 14:00~16:15

第5・6回 8月22日(火) <買い物編> 9:30~11:45

第7・8回 8月25日(金) <道案内編> 9:30~11:45

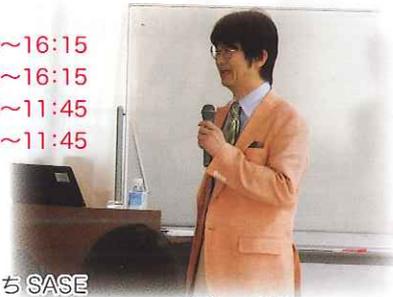
第I部 演題 「発音の仕方と異文化理解」

第II部 演習 「話してみよう英会話」

講師 長崎県立大学 教授 山崎 祐一 先生

小学校外国語の教科化や佐世保市の「英語で交わるまち SASE BOプロジェクト」が展開されている中、小・中学校の先生に対し、発音等に関する不安を払拭し、外国語の指導に自信をつけていただくための研修を行いました。研修の中には、授業で使える異文化理解や授業における指示の仕方など、実践的な内容もあり、有意義な研修となりました。

全10回の計画で、9月以降に残り2回を開催予定です。



編集後記

~学び続ける教師であるために~

平成29年度も前期が終了しようとしています。佐世保市教育センターでは、これまで、延べ3,500名を超える先生方に研修を受講していただいています。

変化の激しい時代においては、子どもだけでなく教師も、主体的に学び、知識を刷新しながら、自らが成長し続ける必要があります。佐世保市教育センターでは、秋以降も、授業改善研修をはじめ多数の研修を計画しております。学び続ける教師、自らを高める教師であるために、積極的な受講をお待ちしています。

また、受講内容を校内研修等で伝達をしていただき、広く役立てていただければ幸いです。

